



J R 連 合 N E W S

J R 産 業 に 集 う
す べ て の 仲 間 の
J R 連 合 へ の
総 結 集 を !!

2023 年 度

N o . 4 7

2 0 2 3 年 1 1 月 1 7 日

日 本 鉄 道 労 働 組 合 連 合 会

自 動 車 連 絡 会 第 31 回 総 会 を 開 催

バス産業の危機的状況乗り越えるべく、取り組みの強化を確認！

JR連合自動車連絡会第31回総会



挨拶する矢田代表幹事

J R 連 合 自 動 車 連 絡 会 は 11 月 1 日、札幌市「TKP 札幌ビジネスセンター」において第 31 回総会を開催した。全国から J R バス産業で働く仲間が集まり、バス産業が陥っている危機的状況乗り越えるべく議論を交わした。

冒頭、挨拶に立った矢田尊弘代表幹事（J R 西労組西日本 J R バス地本執行委員長）は、「バス産業は深刻な人手不足に見舞われ、非常に苦しい状況にある。バス運転手の賃金や労働時間等が他産業と比べ低位にあることが要因であり、待遇改善を図り魅力向上に取り組まなければならない」と呼びかけた。

また、J R 連合からは荻山市朗会長、政所大祐事務局長、相良夏樹組織・政治局長、石川敏也産業政策局長が出席。代表して荻山会長から「コロナ禍で課題が顕在化し、地域公共交通は転機を迎えている。再構築協議会でのモード転換やライドシェアに関する議論も取り沙汰されており、注視する必要がある」と課題提起したほか、2024 春闘や組織の強化・拡大への取り組みを要請した。

総会では、J R 北労組自動車支部の中澤雄二執行委員長を議長に選出。バス産業の持続的な発展に向けた取り組みや安全の確立、各種政策課題の解決、労働条件の改善、組織の強化について、向こう一年間の方針を決定した後、矢田代表幹事による団結ガンバローで締めくくった。



矢田代表幹事による力強い団結ガンバロー

翌日には、じょうてつバス川沿営業所にて出勤点呼の流れやバスロケーションシステムの活用状況、6 年前に新設された整備工場での安全対策等を視察。終了後にはじょうてつバス、私鉄総連北海道地方労働組合・同定山溪鉄道支部との意見交換を開催し、安全教育の内容や 2024 年 4 月から適用開始となる改善基準告示への対応状況、人手不足解消に向けた採用・人事運用の取り組み、D X 推進の課題等について情報共有した。



同業他社の運行管理や整備の取り組みを視察（上）
お互いの取り組みや課題について情報共有（下）

の活用状況、6 年前に新設された整備工場での安全対策等を視察。終了後にはじょうてつバス、私鉄総連北海道地方労働組合・同定山溪鉄道支部との意見交換を開催し、安全教育の内容や 2024 年 4 月から適用開始となる改善基準告示への対応状況、人手不足解消に向けた採用・人事運用の取り組み、D X 推進の課題等について情報共有した。

J R 連合自動車連絡会は、魅力あるバス産業の実現や J R バス労働者の処遇改善に向け、全国の仲間とともに一丸となって取り組んでいく。